

しまなみ暮らし支援アンケートの調査結果（概要版）

【調査目的】

しまなみ暮らし支援事業において、従来のしまなみ海道通行料の負担に加え、昨今の燃料高騰により更なる負担を強いられている島しょ部世帯の住民について、生活支援のため燃料クーポンを配付するとともに島しょ部地域の全世帯を対象として、地域公共交通や子育て、教育、福祉など生活全般に係る生活実態をお伺いし、今後、しまなみ地域の課題解決に取り組んでいくための基礎データを収集することを目的に「しまなみ暮らし支援アンケート」を実施した。

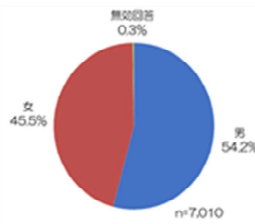
【調査概要】

調査対象：今治市島しょ部地域（吉海、宮窪、伯方、上浦、大三島、関前）にお住いの全世帯へ郵送による配布・回収
 調査期間：令和4年8月1日から令和4年9月15日

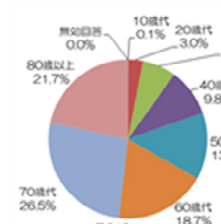
【調査結果】

配布数	回収数	回収率
8,884 票	7,010 票	78.9%

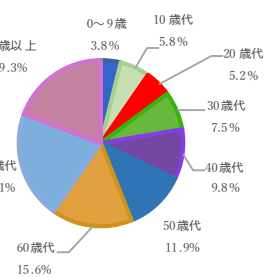
【性別】



【年齢】



【人口比率（島しょ部地域）】



地域のつながりについて（報告 12 頁 地域の暮らし・活性・連携 17）

多くの方が人と人がつながり、安心して暮らせる地域であると感じている一方で、「10年前に比べて、地域の人と人とのつながりは強くなっている」という問いに対し、「あまりそう思わない」が 38.8%と最も多く、「全くそう思わない」と合わせ 50.6%となり、そう思わない意見が過半数を占めている。

地域での生活について（報告 14 頁 地域の暮らし・活性・連携 22）

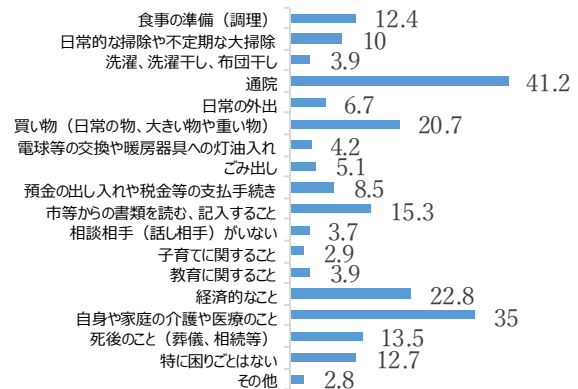
今後も住んでいる地域に住み続けたいか否かについて、「ややそう思う」が 31.1%と最も多く、次いで、「どちらとも言えない」が 28.3%となっている。「非常にそう思う」、「ややそう思う」を合わせ 54.2%となり、住み続けたいという意見が過半数を占めている。

地域に住みたいと思うところ・住みたくないと思うところについて（報告 32,33 頁 問 9）

住みたい・住みたくないと思うところをそれぞれお伺いしたところ、住みたいと思うところを回答した人の方が多かった。住みたい理由は、「自分が生まれ育ったから」が 63.3%と最も多く、次いで、「大きな災害がないから」が 47.7%、「自然が豊かだから」が 40.4%となっている。住みたくない理由については、「しまなみ海道通行料が負担だから」が 68.4%と最も多く、次いで、「買い物する場が少ないから」が 57.6%、「交通の便が悪いから」が 56.1%となっている。

日常生活の困りごとについて（報告 40 頁 問 16）

日常生活を送るうえで、困ったり不安に感じていることをお伺いしたところ、「通院」が 41.2%と最も多く、次いで、「自身や家庭の介護や医療のこと」が 35.0%、「経済的なこと」が 22.8%、「買い物(日常の物、大きい物や重い物)」が 20.7%となっている。「その他」の意見として、「老後のこと」、「車に乗れなくなったときのこと」、「後継者に関すること」、「家や土地の管理に関すること」、「景観・環境の悪化」、「過疎化」などが挙げられている。



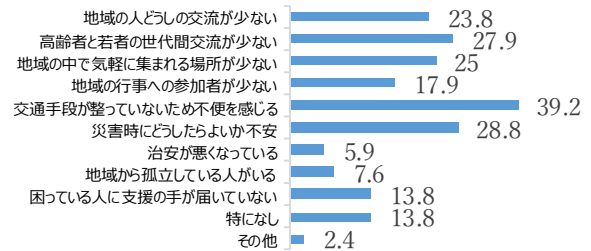
必要だと思う施設やサービス（報告 42 頁 問 18）

（自由記述：回答者全体の 31.9%の方が記入）

社会生活を維持するうえでどうしても必要だと思うものは、「生活関連サービスに関すること」が 30.8%と最も多く、買い物や銀行、配食サービス等、日常生活に関連するサービスへの要望が挙げられている。「その他」の意見として外国人に関するものがあり、「日本の文化と接する機会が欲しい」、「外国人労働者にも分かりやすい防災、防犯訓練」、などが挙げられている。

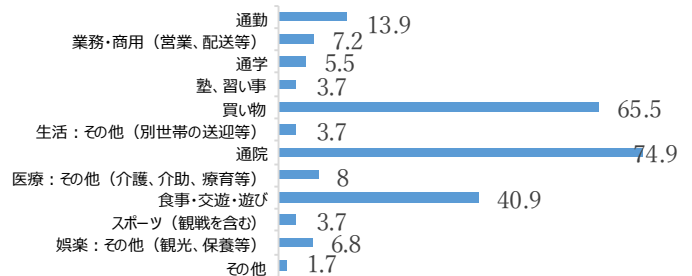
暮らしの中で課題に感じることにについて（報告 50 頁 問 26）

暮らしの中での課題については、「交通手段が整っていないため不便を感じる」が 39.2%と最も多く、次いで、「災害時になったらよいか不安」が 28.8%、「高齢者と若者の世代間交流が少ない」が 27.9%となっている。「その他」の意見として、「高齢化」、「若い人がいない」などが挙げられている。



経済的負担について（報告 69 頁 問 30）

しまなみ海道の通行料（特に経済的負担とを感じる利用目的）については、「通院」が 74.9%と最も多く、次いで「買い物」が 65.5%となっている。「その他」の意見として、「家族などとの面会」、「冠婚葬祭」などが挙げられている。



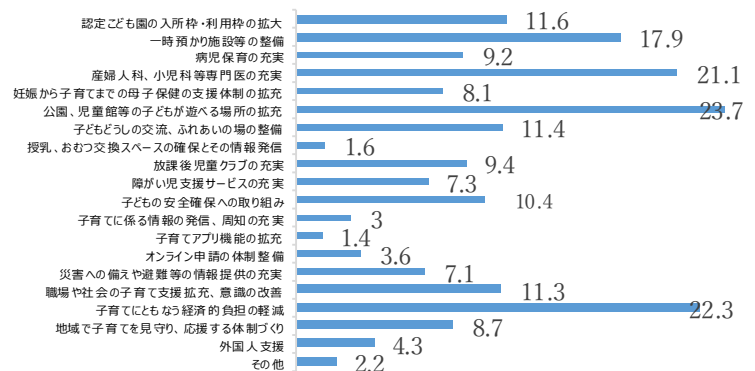
生活道路としてのしまなみ海道通行料に関する意見について（報告 71 頁 問 32）

（自由記述：回答者全体の 51.9%の方が記入）

「通行料の減額・割引に関すること」が 45.5%と最も多く、次いで、「通行料の価格に関すること」が 21.8%となっている。「その他」の意見として、「便利になってありがたい」といった意見や「就職の際、交通費の面で不利になる」といったことが挙げられている。

子育てについて（報告 44 頁 問 20）

子育てにおいて地域にあったら良いと思う取り組みについては、「公園、児童館等の子どもが遊べる場所の拡充」が 23.7%と最も多く、次いで、「子育てにともなう経済的負担の軽減」が 22.3%、「産婦人科、小児科等専門医の充実」が 21.1%となっている。「その他」の意見として、「橋代の補助に関するもの」といったことが挙げられている。



教育について（報告 72 頁 問 33）

（自由記述：回答者全体の 21.9%の方が記入）

小学校から高校までの教育環境などについて、これから必要だと思う取り組みについて、「通学費・通行料に関すること」が 27.3%と最も多く、次いで、「教育格差（人材・設備・機会など）に関すること」が 21.8%、「学校存続・統廃合・一貫教育に関すること」が 20.4%となっている。「その他」の意見として、「施設整備や管理」といったことが挙げられている。

【考察】

- ・昔と比べ、人と人とのつながりが弱くなったと感じているものの、今後も住み慣れた地域に住み続けたいと思っている住民が多いと考えられる。
- ・島しょ部住民の高齢化が進むなか、地域で日常生活を送るうえで欠かせない、通院や医療・介護、買い物などに困ったり不安を感じている住民が多く、医療や福祉、買い物や銀行など、各施設やサービスが充実することを要望していると考えられる。
- ・島しょ部住民が、生活道路であるしまなみ海道を通行することで経済的負担とを感じる利用目的の多くが通院であり、次いで買い物が挙げられている。通院や買い物をするためにしまなみ海道を利用することに対し、通行料の減額や割引を希望する意見が多く、島しょ部住民の要望と考えられる。
- ・子育てにおいて求められているのは、公園や児童館等の子どもが遊べる場所の拡充であると考えられる。また、子育てや教育において、子育てにともなう経済的負担の軽減や通学費・通行料に関することで経済的な負担軽減を要望していると考えられる。